

# ウェルBOX-右京

発行 社会福祉法人 京都市右京区社会福祉協議会  
京都市右京区ボランティアセンター  
京都市右京区太秦森ヶ前町22-3 TEL075-865-8567/FAX075-865-8569  
発行人 原 健 編集人 玉置すみゑ

第22号  
平成24年11月

URL <http://www.ukyoku-syakyo.net> E-mail [info@ukyoku-syakyo.ne.jp](mailto:info@ukyoku-syakyo.ne.jp)

## 特集 ★ 第24回 右京区福祉のまちづくり学校

### 高まる見守り意識

～お元気ですか?の聲が聞こえるまち右京～

みんなの力が右京区を  
元気にする

### Column

ボランティア・市民活動を応援する情報を紹介

Uネット～右京障害者ネットワーク～  
福祉屋台・展示即売会 開催予定日

賛助会員募集への  
御協力ありがとうございました。



赤い羽根  
共同募金

あたたかいご協力をお  
願い申し上げます

10月1日～12月31日

右京区社会福祉協議会  
23年度事業・決算報告

ボランティア・市民活動を応援  
右京区  
ボランティアセンター

施設紹介 ★ 京都市うずまさ学園  
京都市太秦障害者デイサービスセンター

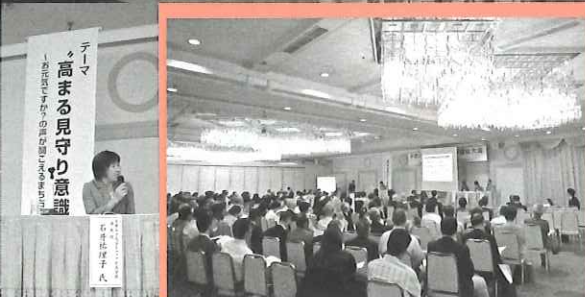


右京区社協では、9月7日(金)に京都国際ホテルにおいて「右京区福祉のまちづくり学校」を開催し、社協、関係機関、行政関係者あわせて約190人の方にご参加いただきました。

「高まる見守り意識」をテーマに、京都市などを襲った7月の局地的豪雨を受けて、被害があった地域から被災当時の様子と、各シンポジストから、身近な地域での「見守り活動」の実践が報告されました。

# 高まる見守り意識

「お元気ですか?」の声が聞こえるまち右京



コーディネーター 京都光華女子大学 キャリア形成学部 准教授 石井 祐理子 氏

取組報告 中村 健治 氏 (宇多野社協) 森 奥 友一 氏 (宇多野学区)  
菊池 初江 氏 (南太秦社協) 中口 美恵子 氏 (嵯峨社協)  
浅野 潤一 氏 (西京極社協)

## 区内を襲った集中豪雨



京都市などを襲った7月の局地的豪雨による右京区での被害状況を再確認。区内では7月末現在で、31戸が床上浸水、104戸が床下浸水する被害を受けました。右京区内でも鳴滝川西町他で御室川の増水により護岸2箇所が崩落により住民が自主避難されたほか、北嵯峨北ノ段町においても被害が拡大する恐れがあることから住民が自主避難されたことの報告を宇多野学区にお住まいの森奥さんよりいただきました。そして、宇多野社協からは豪雨被害より見えた課題についてご報告いただきました。

## 災害を経験して見えた課題と気づき

宇多野社協

7月の局地的豪雨の被害を受けた宇多野学区では、被害を受けた早朝に「避難する場所として小学校を開放した」と地域関係者から連絡を受けるも、町内には足が不自由な高齢者や車いすを利用する人らが暮らしておられ、指定された避難所まで移動することが困難であることから、「町内近くの公共施設に避難できないだろうか」と提案させていただきました(森奥氏)。現場の声を受けて、急遽、近くにある老人福祉センターを避難所として使えるように働きかけていった(中村氏)と当時の様子を振り返ります。そして、「今回の豪雨災害により、配慮が必要な方が災害発生時に避難所までいくことが困難であることが改めてわかりました。宇多野の地域性を考えると、せめて3箇所くらいの避難所が必要なのではないかと考えます。より小さな地域で配慮が必要な方を優先に考えた支援を地域で考えていかなければいけないと感じました」と、社協の中村さんは話されました。宇多野地域の住民でもあり、地元の消防団にも所属する森奥さんからは、「今回の災害をきっかけに、日頃から地域の各種団体と意識的につながっておくことの大切さを痛感しました。万が一、災害や緊急時に、各種団体が迅速に対応できる力をつけておくことが、地域で暮らす人たちの安心感につながっていくのだと思います」と、報告がありました。





## 一人暮らしの高齢者を 地域で孤立させない

南太秦社協

南太秦では、一人暮らし高齢者の身に何かあったときはみんなで支え合うため、社協・民生・自治連が中心となって、配慮が必要な人を把握する福祉台帳づくりを平成6年より取り組んでいます。この福祉台帳に記載される情報は、地域支援者らによって毎年更新されます。5年前からは各町内に福祉連絡係を配置し、よりきめ細かく地域全体で見守り活動をすすめています。地域住民同士のつながりを深めていこうと、2年前より自治連が発起人として気軽に集える場「サンデーモーニング」（サロン）をスタートしました。このサロンには、南太秦学区で暮らし高齢者だけではなく、子どもたちや親御さんらが参加される地域のコミュニティの場として定着しています。きめ細かな福祉台帳づくりからみんなが気軽に集える場づくりについて、南太秦社協の菊池さんは、「南太秦ではあらゆる事業に地域一体となって取り組んでいます。ここ（南太秦の地域）で『最期まで暮らし続けたい』と思っただけのような地域にしたいと事業に関わる皆が思っ取組んでいます」と報告がありました。



## 顔見知りを増やすことで、 見守りの目を細やかにする

嵯峨社協

嵯峨社協が主催する『ボランティアスクール』では、参加する人たちにとって福祉が身近な問題として受け止めてもらえるよう心がけています。

特に災害や緊急時には、地域で共に暮らす障害のある方や配慮が必要な方たちへの見守り支援が必要となります。そのようなことから、嵯峨社協の中口さんは「学区外の障害のある方も参加できないだろうか」と社協に申入れたところ、「緊急時のことを考えた場合、あらゆることを想定して柔軟に考えておくことは必要。参加してもらっても結構です」と心強い返事をいただき、聴覚障害のある方も交えた嵯峨社協独自の研修が実現しました。このような研修スタイルについて、障害者の支援にも携わる機会が多い中口さんからは、「障害のある方を交えた研修や交流の場は、意外と少ないのが実情です。このような取組をきっかけに、障害のある方も、健常者も身近な地域の中で顔見知りが増えていくことにつながってほしいと思います」と報告がありました。

## 住民の意識向上にむけて 積極的な啓発活動

西京極社協

平成19年9月に右京区役所と右京区社会福祉協議会との間で締結された「京都市右京区災害ボランティアセンターに関する覚書」の締結をきっかけに、西京極社協では、『災害ボランティア』を学区社協の活動テーマに掲げ、区内で災害が発生した際、迅速な復興支援にボランティア活動が関わっていくことを目指した「福祉マップづくり」や「災害時のボランティア登録」など様々な活動をすすめています。これら活動をすすめていく中で最も大切にしていることについて西京極社協の浅野さんは、「いかに住民の人たちに知ってもらうか広報啓発を重点に考えて企画しています。緊急時には、どこに避難したらいいのか？水害時には、地域がどのような状態になるのか？など、まずは、地域の状態と自分や家族の身をいかに守るかにについて各ご家庭で考えていただくきっかけになれば嬉しいですし」と、住民の意識向上につなげていく取組みの報告がありました。

なった南太秦社協や、新たな視点を加えたことにより事業が発展した嵯峨社協の事例などを、身近な地域で継続した働きかけが、安心して暮らし続ける地域づくり本来に大事ななんだなということが、今回の皆様のご報告からよく伝わってきました。また、7月の豪雨水害を期に宇多野社協の気づきや、住民の意識向上に向けた西京極社協の啓発活動など、一つ一つの取組みや働きかけが、地域に山積する様々な課題に向き合っていく力を育てていることがわかりました。みなさんの日頃からの活動は、地域での見守り活動の大きな力となっています」とのメッセージがありました。

まとめは、コーディネーターの石井祐理子 京都光華女子大学・キャリア形成学部 准教授より、「どの取組も『地域』にしっかり向き合いながら、地域で暮らしされる人。特に配慮が必要だと思われる人をさりげなく見守っておられることがよく伝わってきました。これまでの活動に新たな担い手が加わることにより見守りの網の目が細かく

## 高まる見守り意識

～お元気ですか？の声が聞こえるまち右京～

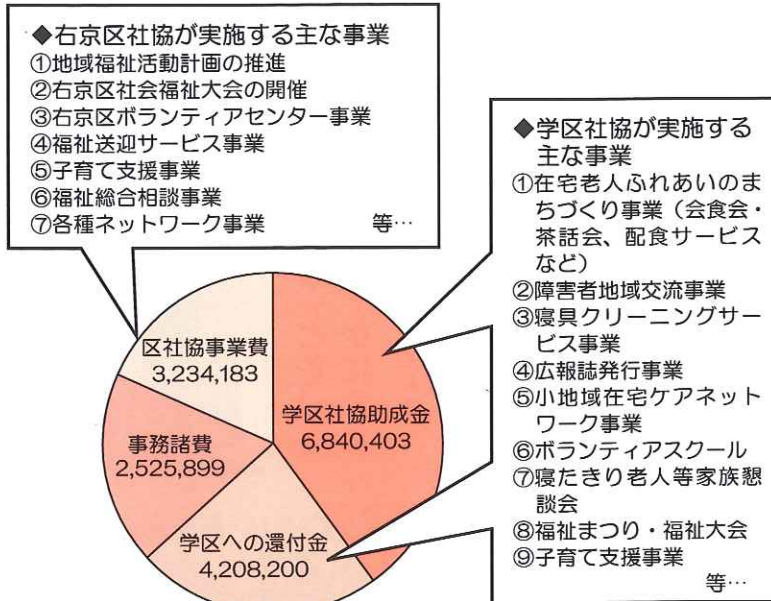


# 平成23年度 賛助会員募集にご協力いただき ありがとうございました！

## みんなの力が右京区を

## 元気にする ◆賛助会員制度◆

### 《平成23年度 賛助会費の使途内訳》



右京区社協では、区民の皆様のご理解と参加・応援のもとで、区社協と学区社協が取り組む地域福祉活動を充実させるため、賛助会員を募集しています。

賛助会員とは、区社協と学区社協の活動の趣旨・目的に賛同し、区内の地域福祉活動を財政的に支援（賛助会費）いただく“地域福祉の応援団”です。

### 平成23年度賛助会費募集実績一覧

学区名	賛助会費 (円)
太 秦	2,389,400
南 太 秦	530,000
常 磐 野	776,900
安 井	887,400
嵯 峨 野	1,197,900
山 ノ 内	732,000
西 院 第 一	578,465
西 院 第 二	858,000
梅 津	712,800
北 梅 津	894,250
嵯 峨	1,556,800
広 沢	838,000
嵐 山	505,800
水 尾	17,000
宕 陰	70,000
花 園	682,200
御 室	1,018,400
宇 多 野	606,200
高 雄	494,600
西 京 極	929,650
葛 野	532,920
合 計	16,808,685

### ●平成24年度 右京区社協の主な事業●

#### 重点課題

- ①第3期右京区地域福祉活動計画の策定
- ②学区社協重点活動プランを始めとした小地域福祉活動の支援
- ③災害ボランティア活動における環境整備
- ④福祉総合相談事業の充実・推進

#### 主な事業

- ①法人運営
  - ・右京区地域福祉活動計画の策定と推進
  - ・組織基盤の充実
  - ・賛助会員募集活動の推進
  - ・広報周知の充実
- ②学区社会福祉協議会活動支援
  - ・学区社協重点活動プランの推進
  - ・身近な地域における「居場所づくり」「見守り活動」「相談支援」事業の推進
- ③右京区ボランティアセンターの運営
  - ・人材育成、活動参画促進事業
  - ・ボランティア相談、コーディネート事業
  - ・災害対策のための環境整備
- ④総合相談事業
  - ・地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）の実施
  - ・生活福祉資金貸付事業の実施
- ⑤各種関係団体とのネットワークの構築
- ⑥施設運営
  - ・京都市うずまさ学園、京都市太秦障害者デイサービスセンターの運営

平成24年度も賛助会員の募集活動を行います。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。



助け合い事業のサポーター

## 赤い羽根共同募金

皆様のあたたかいご協力をお願いします。



赤い羽根  
共同募金

10月1日▶12月31日

地域の福祉活動に使われています。

共同募金は地域の福祉活動の大事な財源となっています。地域の福祉活動は区民の皆様からのあたたかいご協力なしには成り立たないと言っても過言ではありません。今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が展開されています。引き続き、共同募金へのご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。



子育てサロン、子育てサークル



配食サービス活動

平成23年度

### 右京区社会福祉協議会事業・ 決算報告（概要）

23年度は、当初の計画で立てた4つの重点課題

- ①住民主体の小地域福祉活動の推進
- ②区社協運営施設の円滑な運営
- ③区社協法人化20周年に伴う事業の実施
- ④総合相談機能の充実

の達成に向け役職員一丸となって取組を進めてきました。なお、23年度の資金収支計算書は右記のとおりです。ご参照ください。

### 【寄付金コーナー】

貴重なご厚志ありがとうございました。大切にさせていただきます。

(平成23年11月～24年10月)

神田津多代 様  
関 五郎 様  
吹田 良忠 様  
匿名希望 様

京都府遊技業協同組合理事長 白川鐘一 様  
イオンモール株式会社・イオンモール京都五条 様  
株式会社 西村信天堂 様

京建労右京支部支部長 井上豊 様  
イオンモール京都五条同友店会 様  
げん氣鍼灸整骨院 吉村直樹 様  
蒲田 勝 様

京建労右京支部京北分会他京北地域の皆様方多数

右京区の地域福祉発展のため、寄付のご協力を  
よろしくお願いします。

### 【資金収支計算書】

(自)平成23年4月1日

(至)平成24年3月31日

一般会計		単位:円	
経常活動による収支			
収入			
勘定科目	予算額	決算額	差異
会費収入	18,756,000	18,886,685	-130,685
寄附金収入	3,624,000	3,662,084	-38,084
経常経費補助金収入	35,559,000	35,114,695	444,305
受託金収入	21,143,000	21,104,095	38,905
事業収入	3,850,000	3,841,310	8,690
共同募金配分金収入	9,687,000	9,686,849	151
雑収入	480,000	521,349	-41,349
受取利息配当金収入	415,000	422,776	-7,776
経理区分間繰入金収入	24,803,000	24,508,000	295,000
経常収入計①	118,317,000	117,747,843	569,157
支出			
人件費支出	50,250,000	50,244,498	5,502
事務費支出	5,402,000	5,053,564	348,436
事業費支出	12,688,000	11,714,081	973,919
助成金支出	28,633,000	27,840,577	792,423
負担金支出	110,000	102,700	73,000
経理区分間繰入金支出	24,803,000	24,508,000	295,000
経常支出計②	121,886,000	119,463,420	2,422,580
経常活動資金収支差額③=①-②	-356,900	-1,715,577	-1,853,423
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等寄附金収入	1,760,000	1,760,000	0
施設整備等収入計④	1,760,000	1,760,000	0
支出			
固定資産取得支出	1,861,000	1,858,700	2,300
施設整備等支出計⑤	1,861,000	1,858,700	2,300
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	-101,000	-98,700	-2,300
財務活動による収支			
収入			
積立預金積立収入	3,728,000	2,885,000	843,000
財務収入計⑦	3,728,000	2,885,000	843,000
支出			
積立預金積立支出	58,000	15,263	42,737
財務支出計⑧	58,000	15,263	42,737
財務活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	3,670,000	2,869,737	800,263
予備費⑩	0		
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	0	1,055,460	-1,055,460
前期末支払資金残高⑫	21,339,954	33,980,199	-12,640,245
当期末支払資金残高⑬+⑫	21,339,954	35,935,659	-13,695,705



# 右京区ボランティアセンター

ボランティア・市民活動を応援する情報を紹介。  
是非、一緒に参加してみませんか。

活動  
応援

## 右京ボランティアグループ交流会開催

平成17年に京北町が京都市へ編入合併して以来、右京区と京北それぞれの拠点でボランティア活動をしつつも、お互いの活動内容を知る機会がなかったことからお互いの活動を知る交流会を7月に開催しました。

交流会に参加したボランティアらは、「活動拠点が違うと、こんなにもボランティアの内容が変わるんですね…」とそれぞれの活動に興味津津。

また、親交を深めるために、京北のボランティアグループ「ピースウェーブ」のユニット“だんだん”に「みんなで一緒に歌いましょう」とレクリエーションを企画していただき、みんな大きな声で歌い和やかなひと時を過ごしました。区内で活動するボランティア・市民活動団体の情報交換の場として、ボラセンではボランティアグループ連絡会を組織し、それぞれの活動を応援しています。連絡会に興味がある方はボラセンまでお問い合わせください。



要約筆記講座  
受講者募集

参加者  
募集

【開催日時】平成25年1月26日(土) 13:30~15:30

【開催場所】コミュニティ嵯峨野

【募集定員】20名

(先着順。ハガキまたはFAXにて受付)

【参加費】無料

【申込締切】平成25年1月23日(水)

【申込先】右京区社会福祉協議会

電話：865-8567

FAX：865-8569

《要約筆記とは…》

聞こえない、聞こえにくい方に、話の内容を文字にして書いて伝える方法です。

個人の時は紙に書いて、大勢の時はOHPなどを使って伝えます。

## 京北地域で「対話ボランティア活動」が始まります。

「昼間、一人で過ごしている母の話し相手をしてくれるボランティアはないですか？」という、ボランティア相談を受けて、「対話ボランティア活動」を立ち上げる入門講座を4月25日から全3回講座として新規開催し、講座には、延べ46名が参加されました。一人暮らしの高齢者の方、また同居していても昼間お一人で過ごしておられる高齢者に、お話しを通じていつまでも元気に暮らし続けていただきたいと願っています。



## 高齢者に重い負担としてのしかかる雪おろし

京北地域  
雪かきボランティア

参加者  
募集

京北の豪雪地域黒田では、高齢者にとって除雪作業は厳しく、積雪の為外出や近隣の住民との交流もままならない状態です。単身高齢者宅での除雪作業ボランティアを募集します。

【開催日時】平成25年2月16日(土) 9:30~15:00頃

【開催場所】京北黒田地域(送迎バスあり)

【参加対象】高校生以上の健康な方

【募集定員】25名(先着順。電話・FAXにて受付)

【参加費】無料

【申込締切】平成25年1月25日(金)

【申込先・問合せ】右京区社会福祉協議会京北事務所

電話：852-0527

FAX：852-1287

防災

## 11月25日右京区総合防災訓練で実施 右京区災害ボランティアセンター設置・運営訓練

災害ボランティアセンターは、平成7年の阪神・淡路大震災を契機に全国で広がりを見せ、新潟県中越地震や東日本大震災でもボランティアと被災地をつなぐ大切な役割を果たしてきました。

災害が起こった際には、区災害対策本部からの要請を受けて、区社会福祉協議会が「右京区災害ボランティアセンター」(区災害VC)を設置します。

今年3月には市内全11区で区災害ボラセン設置場所が確定し、ボランティアを受け入れる拠点整備がすすんでいます。

今回、右京区では総合防災訓練にあわせて、サンサ右京1階ロビーにボランティアの受け入れや支援活動のコーディネートをおこなう区災害VC設置・運営訓練をおこないます。



## 体験を通して障害について学習を深める

パラリンピックで身近になった **障害者スポーツ**総合  
学習

車イスバスケットボールは、1940年代にアメリカで考案されて以降次第に普及。パラリンピックでは1960年のローマパラリンピックから競技が行われています。車イスツインバスケットボールは、四肢マヒのある人にも競技できるようにルールを工夫し日本で考案されました。競技を通じて障害について理解を深める「福祉教育・ボランティア体験プログラム」を葛野小学校の6年生（90名）が行いました。

葛野小学校6年生が体験



9月20日（木）、葛野小学校6年生90名は、約3時間にわたる長時間の車イス体験にもかかわらず、彼らには額の汗と充実感で溢れる笑顔がありました。児童の感想文には、「（ツインバスケットは）難しかったけれど、楽しかった」、「障害があってもできないと思えることも、できるように工夫されている」、「最初は（障害のある人は）何もできないと思っていたけど、あきらめずに挑戦することはすごく大切だと思った」とそれぞれの思いが綴られていました。

体験では、3人一組で車イス体験をおこないました。段差、砂利道、坂道をイメージしたマット4段を使った実技体験では、車イス操作を見守る児童たちから拍手がおくられる場面もありました。また、ゴールが高い位置と低い位置にセットされるなど、障害の程度にあわせて様々な工夫がされている車イスツインバスケットのルールなどを学んだあと、児童らはスポーツ競技用の車イスに乗り換え、メンバーの指導のもと、一緒に汗を流しました。

今回は、「共に生きる」を総合的な学習の時間のテーマに掲げる葛野小学校が、これまで行ってきた体験事業をもとに、新たなプログラムを希望されたことから、学校・当事者団体の協力のもと実現しました。

今回、協力していただいた「京都 サンクロウズ」は、上下肢に障害のあるメンバーで構成される車イスツインバスケットボールチームです。現在、国内で50チームほどが活動されています。その中でサンクロウズは、「外へでて一緒にスポーツしよう！」を合言葉に身体に障害のある方の自立生活・社会参加へのアドバイスと全国大会優勝を目指してトレーニングに励んでおられます。

障害があっても一生懸命にボールを追いかけるメンバーらの姿は、児童たちにとって障害への理解を深める実り多い体験事業となりました。

## ボラセンって？

右京区ボランティアセンターでは、「ボランティアをしたい・してほしい・勉強したい」などのボランティア相談を受けています。また、ボランティア活動に必要な保険の加入手続き、貸出など活動を応援しています。お気軽に、ご相談・お問い合わせください。

## ○ボランティア相談受付時間

月～金曜日 9時00分～17時00分  
（夜間、土日祝はFAXでも可）

## ○お問合せ先

右京区ボランティアセンター  
右京区太秦森ヶ前町22-3  
TEL 865-8567 / FAX 865-8569







京都市うずまさ学園



京都市太秦障害者デイサービスセンター

「いつもありがとう」今日もみんながんばっています!



「実習行ってきます!」メンバーたちが元気な声で挨拶し、意気揚々と学園を出発します。行き先は株式会社神谷紙器工業所。社長から作業場を提供していただける声をかけていただき、平成21年度から「神谷実習」がスタートしました。当初は、メンバー10名が3人ずつ順番に週2回行っていましたが、現在は担当メンバー13名となり回数も週3回に増えました。作業場も、堀川鋳造師にあった「さめがい工房」から、今年の4月より西大路四条近くの「西院工場」に作業所も移転になりました。作業内容は、お線香の箱折りや、お

線香の仕分けと箱入れです。お線香が折れたり、異物が混入したりしないように注意しながら、丁寧に作業しています。メンバーは、事業所で培ってきた作業能力を活かし外部での作業ができることを誇りに感じていて、その表情は自信に満ちています。障害のある方の就労支援は、事業所内だけでは限界があり、地域の皆様方の協力が大きな支えとなることを改めて感じました。今後は更に実習機会を増やし、「作業」から「就労」へ近づけられることを願っています。今後ともご支援ご協力よろしくお願いいたします。

太秦障害者デイサービスセンター

みんなできいてきました!

9月に4回、4グループに分かれて「トロロ」列車に乗ってきました。「迫力があってビックリしたけど楽しかった」、「(保津川くだりの)船に手を振ったら、手を振ってくれた」、「お昼ご飯おいしかった」、「お土産買ってよかった」などなど、仲間一人ひとりがいろいろな楽しみ方で参加されました。乗り物が好きだけど、日常生活ではなかなか乗る機会がない仲間が多いので、充実した一日を過ごせました。これからも「障害があっても」普通の暮らしがしたい「そんな仲間の思いを支援していきたい」と思っています。

手作り授産製品販売・福祉情報展示ひろばのお知らせ

今後の開催予定
SANSA右京 (1Fロビー)
平成24年12月20日 (木)
平成25年 1月24日 (木)
2月28日 (木)
イオンモール京都五条
平成24年11月30日 (金)
平成25年 3月29日 (金)
いずれも開催時間は10:00~16:00

Uネットでは福祉施設でつくった製品の販売・福祉情報の展示を月1回程度開催しています。是非、お立ち寄りください。また、イオンモール京都五条3階「うきよの福祉ひろば」では施設の紹介をしています。

Uネット~右京障害者ネットワーク~

右京区にある障害者施設でつくるネットワーク(Uネット)では、障害者にも暮らしやすい地域づくりを目指し、様々な啓発活動に取り組んでいます。
京都希望の家 めだかの学校
みやこ西院作業所 じゅらく
きょうと WAKUWAKU 座 てあとろ
やまぶき共同作業所
Uネット加盟施設
タイムワークサポートセンター
西大路共同作業所分室「聖」
京北やまぐにの郷 しゃくなげ共同作業所
NPO 法人加音西京極作業所 うずまさ学園
太秦障害者デイサービスセンター
NPO 法人麗山風音 就労支援センターとも



高まる見守りの意識
京都市と学区社協間で
協定書の締結すすむ
京都市では今年7月より、支援が必要な一人暮らしの高齢者や障害のある方等の、地域における見守り体制の充実と、災害時の要援護者の支援をすすめる「地域における見守り活動促進事業」をスタートしました。この事業では、地域包括支援センター等が一人暮らし高齢者宅を訪問し、地域の関係機関等に要援護者の個人情報を提供してよいかの確認をさせていただき、同意の得られた方の情報は、民生委員や社会福祉協議会等の関係機関等に提供され、地域での見守り活動の充実に活かされていきます。7月の事業開始以降、各学区社会福祉協議会では、京都市と同意を得られた方の情報を提供していただくための協定書の締結をすすめています。社協では、これまで学区社協ですすめてきた一人暮らし高齢者や高齢者世帯への訪問、寝具クリーニング、配食サービス、茶話会・会食会、健康すこやか学級、相談事業などの活動をこの「地域における見守り活動促進事業」に活かしつつ、身近な地域で「見守り活動」・「居場所づくり」を積極的に進めていきます。